

A FILM BY
BRUCE SPIEGEL

BILL EVANS

TIME REMEMBERED

THE LIFE AND MUSIC OF BILL EVANS

ビル・エヴァンス

タイム・リメンバード

監督:ブルース・スピーゲル

「美と真実だけを追求し、他は忘れる」

「時間をかけた自殺」とも言われた”ジャズピアノの詩人”

51年の人生と魂の音楽



彼の作品は
ショパンに匹敵すべきものだ
ジャック・ライリー(ピアニスト)

聴いたらわかるさ、その美しさが…
泣きたくなる
マーティ・モレル(ドラマー)

彼がジャズに与えた影響は
この先100年は続く
ゲイリー・ビーコップ(ベースト)



ビル・エヴァンス生誕90周年記念公開

ビル・エヴァンス以上に情感を表現できる者はいない。

この映画を見ると、彼の音楽における誠実さがひしひしと伝わってくる。

トニー・ペネット(歌手)

物語としても第一級の洗練されたドキュメンタリー

ロジャー・イーバート(映画評論家)

ジャズファンなら見逃せない。洞察と情熱がすばらしい。

UK Film Review

今までに作られたジャズの巨人たちに関するドキュメンタリーの最高峰

Wise magazine

問題を抱えた天才音楽家の生き生きした素顔をとらえた

すばらしいドキュメンタリー

Record Collector

ブルース・スピーゲルによる最上級のドキュメンタリーは究極の哀歌だ

MOJO Magazine



圧倒的な影響と人気を誇るジャズ・ピアニスト ビル・エヴァンス。

その出自、キャリアのスタートから人間模様、死の間際までを8年に渡り追った、貴重な証言・映像・写真の記録!

その美しい音楽の源は? その裏の悲劇に満ちた人生の真実とは?



共演者、ジャズの巨匠たちによる貴重な証言の数々

トニー・ペネット(ヴォーカル) やジョン・ヘンドリックス(ヴォーカル) ら当時の共演者はもちろん、

伝説のファースト・トリオ→死の間際のラスト・トリオのメンバーらがビル・エヴァンスとの出会いや人物像、彼の音楽について証言。

既に亡くなったレジェンド達の晩年の姿も・・・

インタビューで登場するジム・ホール(2013年逝去)、ポール・モチアン(2011年逝去)、ジョン・ヘンドリックス(2017年逝去)、オリエン・キーブニュース(2015年逝去)、ボブ・ブルックマイヤー(2011年逝去)、ビリー・テイラー(2010年逝去)など、

公開前に鬼籍に入っている出演者も多く、彼らの晩年を捉えた記録映像としても貴重。

もちろん本人も多数登場。そして、誰もが名前は知ってるあの人も・・・

もちろん、ビル本人の肉声や映像・写真も多数収録。演奏シーンや仕事のインタビューはもちろん、

幼少期の愛らしい姿や、麻薬に蝕まれながらも家族を大切にする姿など、貴重なプライベート・ショットの数々は必見。

また、ジャズ史に燐然と輝く名盤のタイトル曲『ワルツ・フォー・デビ』のモデルとなった姪のデビや親族も証言者として登場。

兄ハリー、スコット・ラファロ、マイルス・ディヴィス、そして女性たち・・・

さらに『ワルツ・フォー・デビ』で伝説的な演奏を披露し、

その翌週25歳で事故死した幻のベーシストスコット・ラファロら共演者の往時のプライベート写真や恋人のインタビューも収録。

薬物依存をはじめ、内縁の妻・兄の自殺など、これまで周知の事実の裏に隠されたスキヤンダルが親族や近しいミュージシャンの口から明らかにされるほか、マイルス・バンド在籍時の名盤制作秘話から死の間際の様子までも語られる。

世界初公開。行方均による字幕、全面監修

世界初劇場公開にあたり、ジャズ・プロデューサー行方均の監修により

可能な限り正確でわかりやすい日本語字幕作成。

映画に登場する楽曲の有名ヴァージョンを厳選した
コンピレーション・アルバム

ビル・エヴァンス「ソングス・オン・タイム・リメンバード」

5月1日ユニバーサル ミュージックより発売